

# 英語科学習指導案

## 1 単元名 Unit4 Homestay in the United States

### 2 単元の目標

(1) 間違ふことを恐れず積極的にルールやマナーを伝えている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 家庭や学校のルールについて、適切な助動詞を用いて説明することができる。

【外国語表現の能力】

(3) ホームステイについての英文を読み、質問に答えることができる。

【外国語理解の能力】

(4) 義務や許可を表す助動詞の用法に関する知識を身に付けている。

【言語や文化についての知識・理解】

### 3 単元と生徒

(1) 単元について

本単元は、ホームステイの話題を扱いながら、文化が違う相手とのコミュニケーションの大切さや難しさを、求められる基本的態度について考えることをねらいとした構成になっている。ホームステイをしている生徒が文化の違いから様々な困難にぶつかり、その伝え方や心構えについて学んでいくという展開になっている。その中で、家庭内でのルールや一般的なマナーを教える場面や、人に助言する場面が出てくる。扱う文法事項は、義務をあらわす **have to, don't have to, must, must not**、未来・意志・推測を表す **will** である。1年次に学習した「能力・許可」を表す助動詞 **can** に加えて新たな助動詞 **must, will** が出てくるが、助動詞＋動詞の原形という用法は変わらない。しかし、**have to** に関しては否定文・疑問文にするときに **don't (doesn't)** を使い、直接 **not** をつける助動詞とは違うため注意が必要である。また、「～しなければならない」を表す **have to** と **must** は厳密には文脈によって使い分けるが、ここでは同じ「義務を表す表現」として扱う。ただし否定文(**don't have to** と **must not**)には大きな意味の違いがあるため、気を付けて指導する必要がある。

(2) 生徒について

(3) 指導の構想について

Unit4 では様々な助動詞やそれに似た表現を扱い、教科書の場面設定も人に助言や指示をすることが中心になっている。生徒が実生活の中で、ルールやマナーについて誰かに助言したり、説明したりできる力を身に付けさせたい。そのために、単元の始めでは基本となる助動詞類の用法と意味を学習する。その際に、「学校のルールを説明する」「標識の意味を英語で伝える」など、具体的な場面を設定して言語活動を行いたい。また、次々と新しい助動詞を学習するため混乱しないよう、過去に学習した表

現の復習を授業の始めにスモールトークとして行い、定着を図りたい。単元の前半で意味と用法の定着が十分図られたら、実際に互いの国のルールやマナーについて、オンライン英会話で海外の講師とやりとりを行う。これは、(1)でも述べた通り、文化が違う相手とコミュニケーションをとりながら、互いの文化を知り理解し合うこともねらいとしている。

本時は、Unit4で学んだ助動詞のまとめという位置付けである。これまでALTやオンライン英会話講師、そして教科書から学んだ「文化の違い」を踏まえ、外国人向けに日本で生活する上での注意点を書くという活動がゴールである。Unit4で学んだ助動詞を活用して書けるよう、導入ではアメリカの生活を例にあげて用法と意味を確認する。また、スムーズに書くことができるよう、グループごとにトピックを与えて考えさせたい。個人で書いた後、同じトピックごとのグループで英語によるやりとりで共有したり、もっと紹介できるルールがないか考えたりすることで、自分の表現の幅を広げる助けとしたい。やりとりの中で、聞き取れなかったり分からない単語が出てきたりしても英語で解決できるように英語によるグループでのやりとりを支えるフレーズを提示する。そしてもう一度自分の書いた英文を推敲し清書する。「ガイドブックのページである」ということを意識させ、ルールの箇条書きではなく、「Enjoy your stay.」「I will tell you three rules at a restaurant.」のように自分の考えや感想を含んだまとまりのある英文を書くためのフレーズを加えられるよう、生徒の英文を取り上げたり例を見せたりするなどして支援したい。

#### 4 単元の指導と評価の計画 (総時数 11時間 本時 11 / 11)

学習内容		具体的な評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	have to, don't have to の用法を理解する。				have to や don't have to の用法を理解している。
2	ガイドブックを読み、その内容を理解する。			本文についての質問に正しく答えることができる。	
3	自分の意志や、この後どうなるかの予測を伝える。		will を使って、自分のこの後の行動や天気などを伝え合うことができる。		
4	対話文を読み、その内容を理解する。			本文についての質問に正しく答えることができる。	

5	義務や禁止の英文がどの場面に合うかのかるたをする。				must や must not を使う場面を理解している。
6	咲の相談文を読み、内容に関する質問に答える。		自分ならホストファミリーとどんな話をするか、本文を参考に書くことができる。		
7	カルロの相談文を読み、内容に関する質問に答える。			本文についての質問に正しく答え、要約文の穴埋めを完成させることができる。	
8	家での決まりごとを伝え合う。		適切な助動詞を使って、家での決まり事を聞いたり、答えたりすることができる。		
9	オンライン英会話で、その国のルールについての情報を得る。	間違いを恐れず、積極的にルールやマナーを伝えている。			
10	オンライン英会話で知った情報を整理し、まとまりのある英文で書く。		適切な助動詞を使って、海外の学校のルールを伝える英文を書くことができる。		
11	日本で生活する上での注意点を伝えるガイドブックを作る。(本時)		適切な助動詞を使って、日本で生活する上で注意すべきルールやマナーを書くことができる。		